

東日本大震災復興祈願

輝け！宮城・石巻！ 響け！海の彼方まで

東日本大震災復興10年

令和3年3.11追悼演奏

日時 令和3年3月7日（日） 14:46 黙禱 14:47 追悼演奏

演奏曲 宮城県統一曲“鼓音”

場所 石巻日和山 鹿島御児神社

演奏者 宮城県太鼓連絡協議会合同チーム

奥州柴田一番太鼓、閑上太鼓保存会、米山丸山太鼓、豊里風太鼓
雄勝町伊達の黒船太鼓保存会、津山創作太鼓、涌谷太鼓（順不同）



ご挨拶

公益財団法人日本太鼓財団

理事長 大澤和彦

東日本大震災から10年を迎える今なお、復興に向けて大変な努力を続けておられます皆さまに、心より敬意を表します。

日本太鼓財団と同宮城県支部は、鎮魂と追悼、そしてさらなる復興への願いを込めて、県内7団体による合同演奏会を開催します。

宮城県支部は、2011年6月11日に初めての追悼演奏を行い、以後、日和山での演奏は5年にわたり行われましたが、今回は10年の節目としてのものである一方、このたびの新型コロナウイルス禍の終息を祈願する演奏会でもあります。

ご来場の皆さまには、感染予防のため不便をおかけするご観覧となりますが、太鼓の力強い響きをお楽しみいただき、追悼とともに明日への祈りを捧げていただければ幸いです。

結びに、開催にあたり格別のご支援をいただきました日本財団ならびにボートレース関係者の皆さま、運営にご尽力いただきました関係する全ての皆さまに深く感謝申し上げます。



ご挨拶

日本太鼓財団宮城県支部

支部長 久保泰宏

東日本大震災から10年を迎えようとしている今日、宮城県太鼓連絡協議会による追悼太鼓演奏を開催するにあたり一言ご挨拶を申し上げます。

私たち会員は微力ではありますが日本太鼓を通じて皆様への応援ができればと、震災から3か月目の6月11日この日和山から追悼演奏を行いました。

当日、会場においていただいた方より後日温かい励ましの手紙を頂きました。『初めて魂のこもった太鼓の演奏を聴かせていただきました。チャップの音も心地よく、太鼓に魂がこもると、ここまで音が違うものだと感動しました。「聴く」「聴かせる」のように駆け引きではなく、一人ひとりが奏でる音が強く、優しくひとつになり、垣根を通り越し会場全体を包み心が振るえました。私の記憶に一生残る演奏』との事でした。

震災で亡くなられた多くの方々の鎮魂と、一日も早く新型コロナが落ち着き、安心できる日が来るのを願って挨拶いたします。